

# 令和4年度 事業報告

## 《 概要 》

令和4年度は2年前に引き続き、社会全体がコロナ禍の影響を受け、地域の福祉活動においても、垂水区社会福祉協議会(以下「区社協」という)の実施する様々な事業においても、大きな制約の中で展開する1年となった。

また、このなかにあって少子高齢化や人間関係の希薄化といった社会的な課題はさらに進行し、こどもの居場所やひとり親世帯への支援など、新たな社会的ニーズの増大が見られ、これらの社会環境の変化は区社協事業の展開にも影響を与えた。

コロナ禍の影響を挙げると、中止した事業としては多くの区民が参加するたるみっこまつりなどのイベントが挙げられる。一方、コロナ禍で増えたものとしては、生活福祉資金の特例貸付やひとり親世帯への食糧支援の事業があった。また、コロナ禍で実施方法を変えたものとして、ふれあい給食の開催方法や手話など少人数を対象とした連続講座、スマートフォンを活用したつながりづくり講座。そして、新たな社会的ニーズに対応し取り組みを始めたこどもの居場所づくり事業は2年目を迎えた。

これらの事業は、区社協事務局サイドで直接実施する一部のものを除き、垂水区内の地域活動者をはじめとする区民の皆さまが主体となって進められるものが多く、まさに地域住民主体の福祉活動であり、垂水区民の皆さま自身による活動の成果であったと言える。

このように令和4年度の区社協運営は、財源を支える共同募金運動や善意銀行の寄付金の受け入れ、区社協事務局として法令の遵守や経営の透明性や公正さの確保など組織統制の強化を含め、全体として時代の変化に対応しながら、適切に進めることができたものとする。

※以下に示す件数等はすべて令和4年度実績です。

## 1 理事会・評議員会等の開催

### ①第1回理事会(令和4年6月7日(火)開催)

(議事)令和3年度決算報告・令和3年度事業報告

評議員選任・解任委員の選任

評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集

新役員(理事)候補者の評議員会への提出議案

「市・区社協組織体制あり方検討会」への参画

定時評議員会の招集・提出議案

### ②第1回評議員選任・解任委員会(令和4年6月7日(火)開催)

(議事)評議員の補充選任

### ③定時評議員会:(令和4年6月22日(水)開催)

(議事)令和3年度決算報告・令和3年度事業報告

新役員(理事)の選任

### ④第2回理事会(令和5年3月8日(水)開催)

(議事)令和4年度補正予算(案)

令和5年度児童館の管理運営に関する業務の受託契約(案)

令和5年度事業計画(案)及び予算(案)

令和5年度役員賠償責任保険の加入

評議員会の招集・提出議案

### ⑤第2回評議員会(令和5年3月22日(水)開催)

(議事)令和4年度補正予算(案)

令和5年度事業計画(案)及び予算(案)

## 2 広報・福祉啓発活動の実施

### 1) 冊子「垂水区社協お役立ちガイド」の発行(年1回/1,000冊)

【決算額: 130千円 財源: 市社協補助金】

地域活動への参加方法、区社協が提供する相談、助成、サービス等をB5サイズにまとめた保存版の小冊子を作成し、地域活動者をはじめ関係機関の方々に配布した。

(内容)暮らしの困りごと、高齢者支援、財産管理、障がい者支援、子育て支援、ボランティア活動等

### 2) ホームページの運営 (<http://www.tarumi-csw.or.jp>)とSNSの発信

【決算額: 150千円 財源: 市社協補助金等】

ホームページで本会の事業紹介、講座・イベント・ボランティア募集、助成金等の情報提供や公式ツイッター、職員ブログ「かんらかんら」の運営を行った。また、「with コロナ」に対応した、多様なネットワークによる新しい地域福祉活動のカタチを目指す取組み「Re<sup>3</sup>(れれれ)大作戦」について、SNSにより発信した。

#### ① ホームページ情報発信および閲覧状況

本会情報発信回数: 114回

ホームページ閲覧者数: 延 24,277 件(令和3年度 25,270 件/前年度比 96.0%)

1ヶ月平均の閲覧: 2,023 件(パソコン 39.7%・モバイル 58.4%・タブレット 1.9%)

#### ② ツイッター発信回数: 83回

#### ③ フェイスブック発信回数: 153回

#### ④ ブログ発信回数: 12回

### 3) 冊子「#垂水区社協★情報発信!!」の発行(年1回/1,000冊)

【決算額: 67千円 財源: 共募】

地域活動の先駆的な取り組み等を他地域へ波及させるため先駆的な情報発信を冊子にまとめ、地域活動者等に配布した。また、今年度もコロナ禍で活動を休止せざるを得ない状況の中、感染症対策を工夫しながら再開された団体の活動を掲載することで、現在休止している団体の活動再開のきっかけづくりとした。

(内容)ふれあい給食グループ、高齢者つどいの場、こどもの居場所、地域活動 等

### 4) たるみ生き活き保健・福祉フェア

【決算額: 15千円 財源: 共募】

高齢者・障害者・児童等の福祉の現状を紹介するとともに、地域で互いに助け合うため、また福祉活動への参加のきっかけとして、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら開催した。

(日 時)令和4年10月5日(水)~7日(金)

(場 所)垂水区役所

(共 催)垂水区役所保健福祉課

区 分	内 容
展示・活動紹介コーナー	赤い羽根共同募金ポスター展、区歯科医師会によるポスター展、区内の児童館・福祉施設・団体などの活動紹介と作品・製品の展示
ふれあいコーナー	バザーの実施(障がい福祉サービス事業所出店)
講演会	健康づくり講座(垂水鍼灸マッサージ師会 協力)

### 5) たるみっこまつり 開催延期 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

### 6) ポスタープリンターの利用貸出

【決算額: 52千円 財源: 善銀 52千円(売上額: 52千円)】

地域で行われる各種事業・行事の横断幕やポスターなどを、イメージどおりに手軽にかつ安価に作成

し、地域福祉活動推進の一助とすることを目的としてポスタープリンターを設置し利用貸出を行った。  
(利用貸出数)13回

## 7)福祉教育の推進

高齢者擬似体験用具・アイマスク・車いすなどを学校等に貸し出し、福祉教育の推進を図った。

	高齢者擬似体験用具	福祉体験用 車いす	アイマスク	白杖	点字板
保管数	8	7	50	10	40

(貸出実績) 小学校 15 件、中学校 1 件、施設他 3 件 合計:19 件

8)リーフレット「困りごと、おつなぎガイド」の発行 【決算額:10 千円 財源:市社協補助金 10 千円】  
相談時に世帯が抱えがちな困りごとの例示と相談先を示すパンフを作成(1,000 枚)し、広く活用した。

## 3 高齢者福祉の推進

### 1)地域支え合い活動の推進

【決算額:250 千円 財源:市受託金】

民生委員児童委員や友愛訪問ボランティア、あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員等と連携・協働しながら、地域住民による見守りや支え合い活動を進めるためのコミュニティづくりやネットワークづくりを支援した。

(小地域支え合い連絡会への出席) 延 47 回

地域支え合い推進員連絡会の開催 年3回

### 2)地域支え合い推進事業

【決算額:668 千円 財源:市社協受託金】

生活支援や介護予防の推進を目指し、地域福祉の中核である生活支援コーディネーターを中心に、地域における地域コミュニティの形成・活性化、地域福祉の増進・発展を進め、地域力の向上を行った。

#### ①資源開発

住民主体で相互に支え合えるしくみを地域で構築するために、地域情報を収集し、住民へしくみづくり等について働きかけた。

・地域資源の把握と分析

冊子「#垂水区社協★情報発信!!」の発行(再掲)

・実務者会議の開催

通常業務の中で高齢者見守りに協力している事業者等とあんしんすこやかセンターが顔を合わせ、双方の役割や取り組みを知ることで、早期介入に向けた関係機関との連携を行う体制を構築することができるだけでなく、包括的な見守り体制を目指した。

協力事業者等による高齢者見守り事業に関する情報交換会

(日 時)令和5年1月17日(火)14:00~16:00

(場 所)区役所1階大会議室

(参加者) 39 名

#### ②ネットワーク構築

課題解決に向けて、必要な関係者同士による情報交換等を行える機会をつくり、新たな協働や役割分担が生まれるよう努めることにより、地域力の維持・向上を図ることを目指した。

・実務者会議の開催(再掲)

・つどいの場実施団体向け事務説明会・交流会の開催

(日 時) 令和5年3月1日(火) 13:30~15:00  
 (場 所) 垂水区役所 3階 302・303 会議室  
 (内 容) グループ交流会～各団体の課題共有を行い解決の糸口を探る～  
 (参加者) 26 団体 35 名

・ふれあい給食会実施団体向け事務説明会・交流会の開催

(日 時) 令和5年3月3日(金) 10:00~12:00  
 (場 所) 垂水区役所 3階 302・303 会議室  
 (内 容) グループ交流会「他団体の活動を覗いてみましょう！」  
 (参加者) 24 団体 38 名

### ③ニーズと取り組みのマッチング

生活支援コーディネーターが調整役となり、地域課題解決に向けて、様々な地域資源とニーズと結び付けた。

- ・あんしんすこやかセンター等と情報共有を行い、地域住民からのニーズに応じて、地域活動の紹介
- ・地域の担い手に地域資源の情報提供や提案
- ・交流会や研修会を実施し、担い手養成や既存の活動同士のマッチング

LINE でつながり講座の開催

【決算額:30 千円 財源:市社協補助金】

コロナ禍において、これまでどおりの対面型の地域活動が制限されることから、神戸学院大学の学生ボランティアに協力してもらい、LINEを活用した非接触型のコミュニケーションで、それぞれの地域活動の幅を広げる方法を紹介した。

(日 時) 令和4年12月22日(火) 10:00~12:00

(場 所) 垂水区役所 2階健康教育室

(講 師) NPO 法人ふぉーらいふ 副理事長 矢野良晃 氏、神戸学院大学 学生 4 名

(内 容) LINEについて

お友達の登録方法、メッセージの送り方、無料通話の方法、グループトークの作り方 等

(参加者) 8 名

### ④つどいの場支援事業

地域住民などによって自主的に運営されるふれあい喫茶、健康体操などの「つどいの場」を充実させることで、高齢者の介護予防と地域での支え合い体制づくりの推進を図った。

- ・地域の実情に応じて、結成、運営に関する助言、情報提供を行った。
- ・補助金申請及び実績報告の受付

神戸市つどいの場支援事業補助金申請団体 29 団体

- ・交流会等を実施し、継続支援を行った。
- ・活動状況等の実態把握
- ・関係機関との連絡調整

## 3)ひとりぐらし高齢者友愛訪問ボランティア活動への支援

【決算額 5,425 千円 財源:市補助金 4,332 千円、善銀 1,093 千円】

ひとりぐらし高齢者等へ訪問や電話による見守り活動等を行っているグループに対し、運営費の助成を行った。

(活動実績)

グループ数	対象高齢者数	ボランティア数	活動回数(安否確認)
222(▲6)	2,490(▲100)	999(▲50)	412,261(▲12,399)

( )内は前年度からの増減数

4)ひとりぐらし高齢者ふれあい給食会活動への支援

【決算額 7,642 千円 財源:市補助金 6,882 千円、共募 760 千円】

ひとりぐらし高齢者等の閉じこもり防止やふれあい交流を目的に給食会活動を行っているグループに対し、運営費の助成を行った。

(助成実績)

グループ数	延べ参加高齢者数	延べ参加ボランティア数	延べ実施回数
38(2)	14,904(3,596)	4,306(909)	467(128)

( )内は前年度からの増減数

事務説明会・交流会の開催

(日 時) 令和 5 年 3 月 3 日(金) 10:00~12:00

(場 所) 垂水区役所 3 階 302・303 会議室

(内 容) グループ交流会「他団体の活動を覗いてみましょう！」

(参加者) 24 団体 38 名

5)ふれあい給食活動グループへのバス旅行助成

【決算額 0 千円 財源:善銀】

善意銀行助成要綱に基づき、バス旅行を行う給食会活動グループに経費の助成を行なっている

※新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、令和 2 年度より、助成利用について延長可としており、今年度は交付なし。

6)高齢者見守り調査の実施

【決算額 2,684 千円 財源:市受託金】

見守りが必要な高齢者の状況を把握するために、新たに70歳以上となった単身高齢者世帯及び75歳以上の高齢者のみとなった世帯に対し、郵送による事前調査の後、民生委員が訪問して緊急連絡先や生活状況の把握に努めた。また、個人情報管理の徹底を改めて依頼し、台帳等保管用ファイルの配布を行った。

(令和 4 年度高齢者見守り調査郵送件数)

・70歳以上となった単身高齢者の方等 2,282 世帯

・75歳以上の高齢者のみの世帯となった方等 894 世帯(1,790 名)

7)たるみおたよりくらすの実施

【決算額:113 千円 財源:共募】

ひとりぐらし高齢者・障がい者等の希望者に対し、ボランティアが絵手紙・切り絵など趣向をこらした手作りのカードを製作し、月1回送付した。

(延べ送付数) 1180 通

(延べ活動ボランティア数) 374 名

8)たるみふれあい電話の実施(テレフォンサポート事業)

【決算額:145 千円 財源:市社協補助金】

ひとりぐらし高齢者・虚弱者等に対して、ボランティアが週1回電話をかけ、安否確認、孤立防止、相談等を行った。また、ボランティア向けに交流会の実施を行った。

(対象者数) 25 名 (ボランティア数) 8 名

交流会の実施

(日 時) 【上半期】令和 4 年 9 月 29 日(木) 11:00~12:00

(場 所) 垂水区役所 2 階健康教育室 (参加者) 6 名

(日 時) 【下半期】令和 5 年 3 月 30 日(木) 11:00~12:00

(場 所) 垂水区役所 健康教育室⑨ (参加者) 5 名

9)車いすの貸出し

【決算額:0千円 財源:共募】

本会事務局および地域福祉センター(23ヶ所)に車いすを配備し、区民に無料で貸出しを行った。

(貸出件数)事務局貸出実績 計 255 件

(貸出期間)当日から最長 60 日間

10)エンディングノート(垂水版)の配布

【決算額:64千円 財源:善銀】

「今をよりよく自分らしく生きる」ための情報を提供し、地域で安心して暮らし続けたい区民をサポートすることを目的として、善意銀行の金銭預託の払出しを受け作成したエンディングノートを配付した。

(印刷実績) 2,000 冊 (配付実績) 1,925 冊

11)いきいき終活セミナーの開催

【決算額:70千円 財源:市社協補助金】

もしもの時に備えて、周りの人へのメッセージとして、そして何よりも今をより良く生きるために、エンディングノートの書き方、活用方法についてセミナーを開催した。

(日 時) 令和4年10月28日(金) 13:30~16:00

(場 所) 垂水区役所 大会議室

(講 師) 整理収納アドバイザー 竹裏由佳 氏

(内 容) エンディングノートの書き方

(参加者) 65 名

12)介護予防体操のためのプロジェクター支給事業

【決算額:0千円 財源:善銀】

主に高齢者を対象にしたつどいの場の主催者にプロジェクターを支給し、体操のDVDを利用することで専門の講師がいなくても簡単に介護予防体操ができる活動を促したが、支給実績はなし。

4 児童福祉の推進

1)児童館の運営

【決算額:92,393千円 財源:市社協受託金他】

児童館3施設(愛垂・東垂水・星陵台)及び学童保育コーナー4施設、のびのびひろば1施設の職員雇用、人事管理、職員配置等を行い、館の運営を行った。

社協運営児童館・コーナー利用者数等 ※「月平均」の数値は小数点以下四捨五入  
利用者(すべての利用者)数

	月平均	年度合計
愛垂児童館	1,741	20,892
高丸コーナー	1,402	16,821
高丸のびのびひろば	408	4,891
東垂水児童館	1,464	17,571
福田コーナー	1,170	14,040
星陵台児童館	1,275	15,297
東舞子コーナー	961	11,527
ティオ舞子コーナー	771	9,252
合計	9,192	110,291
合計(児童館)	4,480	53,760
合計(コーナー)	3,533	42,388
合計(のびのびひろば)	408	4,891

学童保育登録者数

	月平均
愛垂児童館	81
高丸コーナー	86
東垂水児童館	65
福田コーナー	76
星陵台児童館	63
東舞子コーナー	77
ティオ舞子コーナー	72
合計	520

学童保育延長登録者数

	月平均
愛垂児童館	20
高丸コーナー	24
東垂水児童館	7
福田コーナー	19
星陵台児童館	17
東舞子コーナー	14
ティオ舞子コーナー	7
合計	108

学童保育高学年登録者数

	月平均
4年生	56
5年生	8
6年生	2
合計	66

2) 区内児童館のネットワークの強化及び活動支援 【決算額:422 千円 財源:市社協受託金他】  
 他団体運営の児童館を含め、区内15児童館のネットワーク強化と活動支援、地域の子育て支援事業推進に取り組んだ。

① 訪問・巡回実績 【決算額:105 千円 財源:市社協受託金】

内 容	回 数
情報管理・放課後児童クラブ・安全管理指導	33
その他	15
合 計	48

② 指導員研修 【決算額:24 千円 財源:市社協受託金】

日 程	内 容	参加者数
9月6日(火)	防災プログラムについて	13

③ 指導員・放課後児童支援員合同研修

日 程	内 容	参加者数
10月14日(金)	スクールカウンセラーから見た子どもの現状と課題 ～児童館に期待すること	42

④ 放課後児童支援員研修 【決算額:25 千円 財源:市社協受託金】

日 程	内 容	参加者数
11月15日(火)	アンガーマネジメント～児童支援へ活かす感情コントロール法	37

⑤ 区内児童館合同館長会 令和5年3月10日(金) 16:00～17:00

⑥ 垂水区児童館・学童保育コーナーへのイベント派遣事業

【決算額:118 千円 財源:市社協補助金、共募】

垂水区ボランティアセンター等に登録している団体を児童館等に講師として派遣し、児童に対しての多彩な活動を支援した。

(派遣実績)

内 容	回数	参加者数
すとりべりーじゃむとあそぼう	3	120
元気！わくわくキッズヨガ	2	87
紙芝居がやってきた	3	199
マジックを楽しもう	1	29

演劇の世界をのぞいてみよう！	2	34
お笑い 絵本朗読	2	67
おりがみを楽しもう	2	38
Let's Dance!!心と体で踊ろう♪	3	64
音楽って楽しいね	3	109
さあ楽しく体を動かしましょう	1	25
合 計	22	772

⑦ 垂水区児童館合同行事 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑧ 子ども・子育てサポート事業の実施 【決算額:46千円 財源:市社協受託金】  
親子遊びを中心に、あそび・交流を通して子どもと子育て家庭への支援のため、児童館の設置がない地域で「出前児童館」を実施した。

(1)名谷子育てサロン

(実施期間・回数)令和4年5月16日(月)～令和5年3月6日(月)(計10回)

(場 所)名谷学童保育コーナー

(対 象)就学前の乳幼児とその保護者

(参加者) 60名

(2)舞多間子育てひろば支援

(実施日・回数)令和4年10月27日(木)

(場所)舞多間地域福祉センター

(対象)0～3歳とその保護者

(参加者) 44名

### 3)子育て支援事業の実施

① 子育てコミュニティ育成事業の推進 【決算額:196千円 財源:市社協補助金】

地域の子育てコミュニティ形成を目的に、日曜・祝日に児童館を開放するなどして、様々なイベントや事業を実施していただいた。

(令和4年度実施回数) 延べ24回(3館の合計)

(内 容) 親子体操・グランドゴルフ・季節行事・工作・ボードゲーム等

② 地域の子育てサークルへの講師派遣事業の実施 【決算額:87千円 財源:市社協補助金】

区内の子育てサークルの活動を支援するために専門講師等を12サークルに派遣した。

(派遣実績)

内 容	回	参加数
すとりべリーじゃむと遊ぼう！	1	21
親子でHappytime	3	64
らん＊らん広場～親子で一緒に楽しいことしよう	3	77
親子ヨガ 身体を使って コミュニケーション&リラックス	5	79
音楽とあそび！Let's Play リトミック	2	67
英語にふれよう！	2	22
合 計	16	330



#### 4) こどもの居場所支援事業の実施

- ① こどもの居場所立ち上げ支援 【決算額 1,020 千円 財源:市社協補助金 1,020 千円】  
地域の住民を中心として構成される団体やNPO団体等に向けて、食事の提供や学習習慣を身につける等を目的としたこどもの居場所活動の立ち上げを提案するとともに、立ち上げまでの支援を行った。

新規立ち上げ団体	令和4年度末時点での活動団体
16	38

- ② 垂水区社会福祉協議会 こどもの居場所づくり支援助成の実施  
【決算額 1,000 千円 財源:市補助金 500 千円、市社協補助金 300 千円、善銀 200 千円】  
こどもの居場所団体の活動を支援し、その活動に要する経費の一部を助成することで、こどもの居場所づくりを推進した。  
助成金活用団体:13 団体

- ③ 交流会の開催 【決算額 13 千円 財源:市補助金 13 千円】  
新型コロナウイルス感染症拡大の中でも活動を継続している団体に事例発表してもらい、活動意欲を向上してもらおうとともに、横のつながりを作るため交流会を開催した。  
(日 時)令和5年1月23日(月)13:30~16:00  
(内 容)・今年度活動を開始し、ICTを活用している2団体による事例発表  
・交流会 テーマ「こんな事に力を入れています」「課題に感じている事」  
・コープこうべ協力 フードシェアの会  
(参加者) 14 団体 23 名

- ④ こどもの居場所サポーター養成講座の開催  
新たな活動者の創出および、空白地区での新規団体立ち上げを目的として、こどもの居場所サポーター養成講座を開催した。  
(日 時) 【第1部】令和4年8月9日(火)14:00~16:30  
【第2部】8~9月のうち1日  
【第3部】9月13日(火)14:00~16:30  
(内 容) 【第1部】講義「こども居場所とは」「活動者の事例、子どもたちを取り巻く現状」  
ワークショップ「どんな活動をやってみたい？」  
【第2部】既存団体へ見学・実習  
【第3部】講義「地域で活動始める前に」  
グループワーク「立ち上げシミュレーションをしよう！」  
(参加者) 24 名

- ⑤ ベルデ名谷こどもの居場所事業への支援  
ベルデ名谷子ども会主催のこどもの居場所に対して、社会福祉法人連絡協議会と連携し、広報協力や運営支援を行った。(第3火曜日 14時半~)

#### 5 障がい者福祉の推進

##### 1) 垂水区地域自立支援協議会の運営参加

障がい者の自立と社会参加の促進を目的に、区内の障がい者福祉施設、教育・行政機関等とともに垂水区地域自立支援協議会の運営に参加した。(運営委員会、就労支援部会、らいぶ等)協議会の活動を通じて、情報発信や各種課題の検討を行った。

2)障がい者福祉団体への助成 【決算額:215千円 財源:善銀】  
 障がい者福祉団体の活動を支援するため、5団体に対し、善意銀行の助成を行った。  
 (助成団体数) 5団体  
 (助成金額) 43,000円(1団体あたり)

3)障がい者福祉サービス事業所等への支援 【決算額:441千円 財源:善銀】  
 区内の障がい福祉サービス事業所等に対し善意銀行から助成を行った。  
 (助成事業所数) 20ヶ所  
 (助成金額) 21,000円(1事業所あたり)  
 また、障がい福祉サービス事業所が自主製品を販売し、働く仲間たちの工費アップを図ることを目的に、毎月1回、区役所1階ロビーにおいて「たるみアンテナショップ」を開催した。  
 (共催:垂水区地域自立支援協議会)

4)みんなで学ぼう初めての手話講座の開催 【決算額:528千円 財源:市社協補助金】  
 手話通訳ボランティア育成の一環として、垂水区聴力言語障害者福祉協会及び手話サークルたるみの協力を得て、初心者向けの手話技術講習及び聴覚障がい者との交流会を開催した。  
 <昼の部> 令和4年5月12日(木)～9月29日(木)(20回)10:00～12:00  
 受講者10名 修了者7名  
 <夜の部> 令和4年5月12日(木)～9月29日(木)(20回)18:45～20:45  
 受講者25名 修了者18名

## 6 ボランティア活動の推進

### 1)ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい方(団体・個人)とボランティア活動に来てほしい方(団体・個人)を結びつけるためのコーディネート(連絡調整)、ボランティア同士の交流や情報交換、ボランティア講座の開催などボランティアの育成支援、啓発、相談等を行った。

垂水年金会館内に設置するボランティアルームには、感染対策を行った上で貸出し、ボランティアの会議、打合せ等の活動を支援した。

(運営実績)

ボランティア登録数(令和5年3月末)		ニード申込件数		マッチング数		ボランティア ルーム 利用件数
団体	個人	団体	個人	団体	個人	
417	311	64	13	120		494

2)ボランティアセンターだより「たるたるハート」の発行 【決算額:117千円 財源:市社協助成金】  
 ボランティア活動への理解を深め、活動への参加を促進するため、広報紙を年4回発行し、ボランティア(団体・個人)や地域包括支援センター等に配布した。

(内容)各種講座案内、各種助成金案内、オンラインボランティアまつり、その他等

- ① 第149号(令和4年6月1日発行)
- ② 第150号(臨時号)(令和4年6月1日発行)
- ③ 第151号(令和5年1月1日発行)
- ④ 第152号(令和5年3月1日発行)

- 3)いかなご倶楽部(居場所事業)の開催 【決算額:49千円 財源:市社協助成金】  
活動の紹介が難しいボランティアさんなどを対象に、活動場所の提供と引きこもり防止などを目的のひとつとして、定期的を開催した。  
(内容) 封入作業・共同募金関係などの軽作業。  
(開催数) 12回  
(延べ参加者数) 64名

#### 4)講座・交流会等の開催

- ①みんなで学ぼう初めての手話講座の開催 5-4)再掲  
②学校ボランティア養成講座の開催 【決算額:74千円 財源:市社協補助金】  
小中学校で支援を必要としている子どもたちの障がいについて学び、特別支援学級等の学習の見守りや付き添いをサポートするための知識・理解を深めるために開催し、受講後は活動につながっている。

1日目「学校でのボランティアについて」  
(日 時) 令和4年10月12日(水)14:00~16:00  
(場 所) 垂水区役所 大会議室  
(講 師) 神戸市教育人材センター センター長 山本 政直 氏  
2日目「発達の気になる児童への支援について」  
(日 時) 令和4年10月26日(水)14:00~16:00  
(場 所) 垂水区役所 大会議室  
(講 師) 神戸市立千代が丘小学校 校長 新 学 氏  
(延べ参加者) 28名

- ③ボランティアスキルアップ講座「障がいってなんだろう?」の開催 【決算額:16千円 財源:市社協補助金】  
(日 時) 令和4年7月21日(木)13:30~15:30  
(場 所) 垂水区役所 大会議室  
(講 師) たるみ障害者相談支援センター 地域支援機能強化専門員 中家 美紀 氏  
相談支援機能強化専門員 朝民 成信 氏  
(参加者) 17名(登録ボランティア)

- ④シルバーパワー発掘講座「シニアいきいき講座」の開催 【決算額:37千円 財源:市社協補助金】  
セカンドライフを充実させることを目的に、シニア層に向けての講座を開催した。  
講義「セカンドライフを楽しもう」のあと、ボランティア活動や地域活動を知るきっかけにもらうためにボランティアセンターや、地域活動の案内をした。  
(日 時) 令和5年3月16日(水)14:00~16:00  
(場 所) 垂水区役所 3階 302 会議室  
(講 師) 夢こらぼ 主宰 松尾 やよい 氏  
(参加者) 32名

- ⑤「オンライン ボランティアまつり」の開催  
昨年度開催した「ネットでオンラインボランティアまつり」を、参加しやすくするために、募集方法を動画とミニポスターの2種類にして開催した。  
(公開日)令和5年1月1日~  
(参 加) 12グループ

- ⑥「ボランティア The 談会」の開催 【決算額:0千円 財源:市社協補助金】  
The談会の中で、ボランティアスキルアップ講座を開催した。

⑦ 「たるみっこまつり」への参加 2-5)参照 開催延期 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

⑧ 「垂水区民スポーツの日」 【決算額： 17 千円 財源：共募】

(日時) 令和4年 10 月 15 日(土) 10:00~15:00(9:00 集合)

(内容) ボランティアにより、スランプラリーのブース「障害物競争」を運営

(参加者)25 名 (ホラセンブース 21 名・まちづくり課ブース 4 名)

## 5)ボランティア活動への助成

ボランティア活動を支援するため、ひょうごボランティア基金の県民ボランティア活動助成、および神戸市社会福祉協議会ボランティア基金ボランティアグループ活動助成の受付を行った

(助成等実績)

	エントリー受付	申請受付
県民ボランティア活動助成	78 件	57 件( 1,710,000 円)
市社協活動助成	—	43 件( 512,000 円)

6)災害ボランティアセンター運営のための啓発活動 【決算額 39 千円 財源：市社協補助金】

県立舞子高校環境防災科3年生を対象に、災害ボランティアセンター運営のための講座を実施した。災害支援の現状や現場でのボランティアの役割について学び、災害ボランティアセンターの運営について学ぶ機会となった。また、「リソースカード」を使用し、テーマに基づいて、生徒自身で考えてもらう時間を設けた。

(日 時) 令和4年 12 月 14 日(水)8:55~11:45

(講 師) 垂水区社会福祉協議会 協働コーディネーター 矢野良晃

(参加者) 生徒 38 名

7)KOBE シニア元気ポイント事業の協力 【決算額 0 千円 財源：市社協補助金】

KOBE シニア元気ポイントの説明会で、「活動の心構え」について説明をした。

(日 時) 令和 4 年 4 月 25 日(月)・5 月 26 日(木)・6 月 17 日(金)・8 月 16 日(日)

9 月 15 日(木)・10 月 17 日(月)・12 月 19 日(月)・令和 5 年 1 月 31 日(火)

2 月 24 日(金)・3 月 20 日(月)

(延べ参加者) 104 名

## 7 地域福祉の推進

### 1)共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進

赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の運動に協力するとともに、共同募金を財源とした福祉啓発事業や民間福祉活動等への助成を行った。また、期間拡大運動では兵庫県立神戸商業高校の生徒の協力のもと、たるみ観光大使「ごしまろ」を使用した「ごしまろ缶バッジ・マグネット」を活用した募金活動を行った。

障害者事業所 NPO 法人こぐまくらぶ、NPO 法人ポポロ、NPO 法人ゆとりの協力により、障害者事業所製品を活用した募金百貨店プロジェクトを実施し、共同募金の啓発を推進した。また、期間拡大募金では、昨年に引き続き地元企業、株式会社レーブドゥシェフ様協力のもと、募金百貨店プロジェクトに取り組み、募金促進を図った。

#### ① 令和4年度募金実績

- a. 赤い羽根共同募金(10 月~3 月) 7,121,575 円
- b. 歳末たすけあい募金 2,320,235 円
- c. 赤い羽根共同募金(1 月~3 月期間拡大分) 304,096 円(a. の一部)

② 令和4年度配分実績

a. 赤い羽根共同募金 計 2,007,981 円

(令和3年年度共同募金実績が令和4年度事業費となる)

配分対象活動	対象団体数	配分額(円)	配分先
高齢者福祉活動費	37	869,931	給食会、おたよりくらぶ
児童・青少年福祉活動費	13	361,448	児童館・コーナイベント派遣事業、講師費用
ボランティア活動費	1	28,000	情報誌発行
たるみ応援ハートブリッジ助成 (公募助成) ボランティア活動費	10	500,000	toiro 東垂水まち・みらい・こども・支援ネットワーク NPO 法人ワズプレイス NPO 法人森のようちえん Moimoi すいせい家族会 神戸少年の町 乳児院 一般社団法人ライフカラーサポート 一般社団法人むすびめ ひまわりの夢企画 一般社団法人ある MaMa けあ
地域福祉推進活動費	25	248,601	ひきこもりの方の家族の居場所支援
合計	86	2,007,981	

b. 歳末たすけあい募金 計 2,322,000 円(令和4年度募金が令和4年度事業費となる)

配分対象活動	対象地区数	配分額(円)	配分先
地区住民交流事業	19 地区	2,320,235	地区民児協

③ 明日に架ける「たるみ応援ハートブリッジ助成」の実施 【決算額：1,500 千円 財源：共募、善銀】

赤い羽根共同募金配分金と善意銀行預託金を財源に、区内の地域福祉を推進する団体を公募し助成した。助成金額上限 300,000 円の一般助成枠と上限 100,000 円でプレゼンテーション不要の小規模助成枠を設けている。

(一般助成実績)

助成団体・施設	申請額(円)	助成決定額(円)	助成対象事業
toiro	238,000	238,000	子ども・若者・ひとり親生活弱者への寄り添い支援 事業
東垂水まち・みらい・こども・支援ネットワーク	300,000	300,000	映画鑑賞を通じて地域の方と社会課題や障害者の地域生活を考える 事業
NPO 法人ワズプレイス	300,000	300,000	ワズサークル 事業
NPO 法人森のようちえん Moimoi	300,000	250,000	たるみ 海と人のハートブリッジ 事業
4 団体・施設 計	1,138,000	1,088,000	

(小規模助成実績)

助成団体・施設	申請額(円)	助成決定額(円)	助成対象事業
すいせい家族会	63,000	63,000	精神障がい者がいる家族を支える支援事業

神戸少年の町 乳児院	100,000	70,000	地域子育て家庭支援(おひさまひろば)事業
一般社団法人ライフカラースUPPORT	100,000	70,000	放課後等デイサービス 事業
一般社団法人むすびめ	100,000	70,000	児童発達支援 事業
ひまわりの夢企画	92,000	69,000	垂水区花セラニウムの育成配布 事業
一般社団法人ある MaMa けあ	100,000	70,000	ベビタッチひろば 事業
6 団体・施設 計	555,000	412,000	

#### ④ 啓発ポスター展

共同募金への理解を深めてもらうため、垂水区内の小・中学生を対象にポスターを募集し、展示した。

(期 間)令和 4 年 10 月 5 日(水)～7 日(金)

(場 所)垂水区役所1階ロビー北側

(応募総数)小学生の部 17 点 / 中学生の部 13 点

## 2)地域福祉ネットワーク事業

【決算額:750 千円 財源:市社協補助金】

地域福祉ネットワークを中心に、生活困窮者や制度の狭間など既存のサービスでは解決できない課題の解決に向けて、専門機関と連携して取り組んだ。また、地域に共通する課題については、解決に向けた仕組みづくりにも取り組んだ。また、生活福祉資金特例貸付の相談受付時、生活福祉資金相談員と連携し、世帯支援を行った。

### 1)個別支援の実績

#### ①くらし支援窓口などの関係機関との連携

くらし支援窓口などの関係機関との連携し、生活困窮や社会的孤立などの課題を抱えた方々への個別支援を行った。

新規相談 88 件 課題への支援 延べ 761 回

#### ②生活困窮世帯に対し食糧を提供。

支援先 23 世帯

#### (個別支援の代表的な事例)

##### ・両親を亡くした喪失感より、アルコール依存症の生活を送る50代独居男性

親の介護をするため早期退職するが介護して間もなく母親を亡くす。その後、本人は知人も身内との関わりが無く孤立した生活の中で寂しさを紛らわすためにアルコールを摂取する時間が増えた。長期にわたり大量の飲酒したことで、身体の臓器におよび障がいが見られ、その本人の様子に地域住民が気づき関係機関が支援に関わり始めた。

現在、本人と寄り添いながら①アルコール依存症に伴い身体面の訴え ②預貯金で生活しており金銭面の不安 ③孤独な生活について 聞き取りまずは、アルコール依存症の治療専門医へ区保健福祉課 精神保健相談員と連携し入院し現在治療中。今後は、退院後の支援を関係機関と検討予定。

##### ・ひきこもりの子を持つ親の居場所を通じて、就労作業所への通所へ(30代・女性)

昨年、ひきこもり支援室から区社協のいかなご倶楽部に参加。丁寧な作業と集中力もあり様々な作業ができる方だった。本人は継続的に軽作業に参加し、母親はひきこもりの家族の会に参加。

こどもに何とか自立をしてほしいと言う気持ち強い方だったが、会に参加しひきこもりに関することを勉強会や参加者の方と話しをすることで少しずつ気持ちの整理がついた。

同時に、ひきこもり支援室で定期面談を続けていた本人にも変化がみられ、障害福祉手帳の取得の手続きや作業所にも興味関心を持始め、現在区内の作業所へ通所することが出来た。

## 2)地域課題支援の実績

### ①ほっとかへんネットたるみへの参画

「ほっとかへんネットたるみ(垂水区社会福祉法人連絡協議会)」に参画し、ベルデ名谷でのふれあい喫茶などの地域貢献活動に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、活動が制限される

中、今までの活動が停滞しないよう、会議の開催方法を工夫したり、今後の活動の在り方について区内社会福祉法人で共有を図った。

	回数	内 容
役員会	12回	定例会（月1回開催、内オンライン2回）
全体会	3回	5月 オンライン 令和3年度の活動報告・決算報告及び令和4年度予算、事業計画 法人1分間 スピーチ グループワーク「地域別課題について共有しよう」
		1月 対面 12/12 実務者会のふりかえり グループワーク「地区エリア活動について具体的に検討しよう」 3月 対面 令和4年度決算見込み、令和5年度事業計画・予算案 新役員(案)と代表法人(案)について 各部会報告について
実務者会	3回	7月 オンライン 研修 「令和4年度 兵庫 DWAT 基礎研修」 10月 オンライン 研修 「こども・若者ケアラーの相談や支援について」 12月 対面 研修 「地域活動者の魅力を伝える～地域活動者からの声を聞こう～」
その他	4回	ベルデ名谷まつり、クリスマス会への参加 本多聞秋祭り、本多聞ふれあい文化祭

②ベルデ名谷こどもの居場所事業への支援(再掲)

ベルデ名谷子ども会主催のこどもの居場所に対して、社会福祉法人と連携し、広報協力や運営支援を行った。(第3火曜日 14時半～)

事業名	月 日	内 容	参加人数
ベルデ名谷子どもの居場所事業	5月17日	こどものおたのしみひろば	19名
ベルデ名谷子どもの居場所事業	6月21日	こどものおたのしみひろば	23名
ベルデ名谷子どもの居場所事業	7月19日	こどものおたのしみひろば	22名
ベルデ名谷子どもの居場所事業	9月20日	こどものおたのしみひろば	20名
ベルデ名谷子どもの居場所事業	10月18日	こどものおたのしみひろば	25名
ベルデ名谷子どもの居場所事業	11月13日	第6回ベルデまつり	
ベルデ名谷子どもの居場所事業	12月20日	こどものおたのしみひろば	38名
ベルデ名谷子どもの居場所事業	12月	ベルデ名谷クリスマス会	
ベルデ名谷子どもの居場所事業	3月14日	こどものおたのしみひろば	24名

③「ひきこもりの方の家族の居場所」を運営(非公開で実施)

カフェ「iियो(いいよ)」を貸し切り、専門職がスタッフとして運営。カフェの雰囲気を活かし、話しやすい雰囲気づくりを行い、ひきこもりの方の家族への相談支援を行っている。

日時:毎月第2月曜日 または 水曜日 14:00～15:30

会場:カフェ「iियो(いいよ)」(社会福祉法人すいせい・就労継続支援B型事業所)

(開設実績)

日 時	参加者	内 容	参加人数
4月13日(水)	4世帯(4名) 家族	【講義】就労について	4名
5月11日(水)	5世帯(5名)	【レク】	5名

	家族4名、当事者1名	経験者が語るマインドフルネス	
6月8日(水)	1世帯(1名) 当事者1名	【交流会】	1名
7月11日(月)	8世帯(8名) 家族	【講義】 ライフプランについて	8名
8月8日(月)	4世帯(4名) 家族	【レク】 アロマセラピー体験	4名
9月12日(月)	1世帯(1名) 家族	【交流会】	1名
10月12日(水)	2世帯(2名) 家族	【講義】 「こんな時どうしたらいいですか ～大人の発達障害について～」	2名
11月16日(水)	3世帯(3名) 家族	【レク】 笑いヨガ&交流会	3名
12月5日(水)	3世帯(3名) 家族	【レク】 リラックスレクリエーション&交 交流会(ハーブティー)	3名
1月11日(水)	2世帯(2名) 家族	【講義】 ひきこもりの子を持つご 家族の経験談	2名
2月8日(水)		【講義】 ライフプラン②	5名
3月8日(水)		【交流会】 ～神戸ひきこもり支援室とは～	4名

#### ④神戸さんねっとへの参画

区内のひきこもり・不登校をしている関係機関の集まり「神戸さんねっと」の定例会に参加した。

#### ⑤社会保障プログラムの実施

中学生が社会保障に関心を持つきっかけを作り、将来にわたって社会保障にまつわる不利益を受けることがないように社会の支え合いのしくみや困った時の相談先を知り、将来の生活困窮を予防することを目指し、フリースクールに通う中学生を対象に実施した。

日時	実施場所	対象者	参加人数
1月13日(金)	NPO 法人ふおーらいふ	フリースクールに通う生徒	8名

#### ⑥コロナ禍緊急食料支援

新型コロナウイルス感染拡大によって社会活動が停滞し、多くの人々が日常生活に深刻な影響を受け、福祉的課題を抱える人々も増加、その課題も複合化していると推測されるが、十分に把握されず潜在化している。こうした状況を受けて市内社会福祉施設の職員有志が募金を行い、神戸市社会福祉協議会への寄付金を受け、福祉的課題を抱えるひとり親家庭に、「コロナ禍緊急食糧支援」を行った。

第4回 8月31日 100世帯

第5回 12月22日 107世帯

#### ⑦他部署との連携

「要援護子育て世帯への見守り事業」を実施

垂水区子育て支援室と連携し、虐待等で注意が必要な要援護世帯に対し、食品提供を通じて小中学校の長期休業中の見守り訪問を行った。

(夏休み) 7月27日・8月23日・8月24日 訪問 4世帯

(冬休み) 12月26日 訪問 2世帯

(春休み) 3月29日 訪問 0世帯



### 3) 善意銀行の運営

広く区民から善意の金品の預託を受け、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりに寄与することを目的として、社会福祉団体や施設、地域福祉活動グループ等へ払出を行った。

(預託・払出実績)

	預託		払出	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
金 銭	51	2,979,536	62	4,277,489
物 品	17	—	25	—

(払出・助成実績)

#### ① 金田基金による助成

故金田恵三氏の遺贈により創設された基金を財源に、以下の活動に助成した。

助成対象活動	対象数	助成額(円)	払出先
高 齢 者 福 祉 活 動	232 団体	1,115,000	友愛訪問ボランティアグループ
発 達 障 が い 児 支 援 助 成	1 団体	50,000	NPO 法人ふぉーらいふ
本 会 事 業 に 対 す る 払 出	—	917,305	ポスタープリンター貸出事業 エンディングノート配付事業 高齢者見守り活動支援事業 子どもの居場所づくり助成 地域福祉推進助成(ハートブリッジ助成)
計		2,082,305	

※たるみっこまつり出店助成・里親支援助成・視覚障がい者助成 については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業が延期・中止となったため、助成せず。

#### ② ハートブリッジ基金(北川基金)による助成

北川基金をもとに、区内の地域福祉推進のため、本会へ企画提案される事業(活動)に対して助成(たるみ応援ハートブリッジ助成)した。

6 団体 500,000 円

#### ③ 土井・上野基金による助成

元垂水区連合婦人会会長の故土井芳子氏と、元垂水地区青少年育成協議会会長の上野義夫氏から預託を受けた寄付金で創設された基金をもとに、区内の青少年育成のため、本会へ企画提案される事業(活動)に対して助成(たるみ応援ハートブリッジ助成)による支援を行った。

2 団体 200,000 円

#### ④ 山内基金による助成

故山内日佐子氏の遺産により創設された山内基金を財源として、故人の遺志を尊重し、区内の地域福祉推進に関する事業や活動に対して助成をした。

助成対象活動	対象数	助成額(円)	配 分 先
地域福祉活動立ち上げ支援助成	4 団体	200,000	区内団体(構成員 3 名以上)
共同募金運動推進団体助成	1 団体	400,000	垂水区共同募金委員会
計		600,000	

#### ⑤ 単年度実績助成

区内の自助団体、障害福祉サービス事業所、青少年育成団体に対し、善意銀行への預託実績に基づき、比例按分した額を助成した。

助成対象	対象数	助成額(円)	配分先
当事者団体	5 団体	215,000	障害者自助団体他
障がい者福祉サービス事業所	20 施設	441,000	就労継続支援 B 型事業所他
青少年団体	1 団体	10,000	青少年健全育成団体
計		666,000	

#### ⑥指定預託の払出

匿名の預託者が区内の寄付先を指定したものについては、これを尊重し、寄付先に払出を実施した。

助成対象	対象数	払出金額	配分先
児童福祉	107 世帯	229,184 円	ひとり親世帯
計		229,184 円	

#### 4) 民生委員児童委員協議会活動(正副会長研修)への支援

【決算額:65 千円 財源:市社協補助金他】

垂水区民生委員児童委員協議会が実施する地区会長・副会長研修に対して助成を行った。

#### 5) 日本語教室の運営

【決算額:319 千円 財源:市社協補助金他】

中国帰国者が多く在住する垂水区神陵台地区の地域福祉振興を図るため、神陵台ふれあいのまちづくり協議会に運営助成し「日本語教室」を毎週土曜日に開催した。

(開催回数) 33 回

(会 場) 神陵台地域福祉センター

(参加者) 延べ講師 109 名 生徒 271 名 計 380 名

## 8 相談・援助事業

### 1) 心配ごと相談所の運営

昭和 45 年から区民のよろず相談の窓口として開設している。令和 4 年度の開設日数は 100 日で、運営状況は下記のとおり。相談者は、女性が約 7 割以上を占める。相談内容は家族、高齢者福祉、財産に関するものが多くみられた。また、相談内容によっては、当会ネットワークカーへ繋いだり、関係機関を紹介するなど、解決に向けて助言を行った。

(日 時) 毎週火・金曜日、13:30～15:30(昭和 54 年 7 月から週 2 回開設)

(場 所) 垂水区社会福祉協議会内相談室

(相談員) 民生委員・児童委員、保護司など 18 名

#### ① 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
件数	7	8	11	9	10	5	6	3	2	2	6	2	71

#### ② 相談内容

相談内容	件数	相談内容	件数
生計	4	財産	5
住宅	5	家族	23
結婚	2	離婚	2
健康・保健・衛生	5	高齢者福祉	8
医療	2	苦情	5
その他	10		

### ③ 相談員研修会

(日 時) 令和4年10月13日(木)13:30～15:40

(テーマ) 「成年後見制度利用のメリット・デメリット～成年後見相談の実例から～」

(講師) 司法書士 守屋 裕介 氏

(参加者) 17名

## 2)成年後見制度事前相談室の運営協力

神戸市成年後見支援センターが実施する「成年後見制度事前相談室」の運営に協力した。

(平成25年9月開設)

(日 時) 第2・4水曜日 13:30～15:30

(場 所) 垂水区社会福祉協議会内相談室

(相談員) 市民後見人養成研修を修了した市民後見人候補者

(相談件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
件数	3	1	3	2	0	4	3	1	3	1	5	0	26

## 3)元気なうちの税務相談～終活・相続・遺贈寄付～ 【決算額:123千円 財源:市社協補助金】

エンディングノートや相続、遺贈寄付等に関心が高まっているため、税理士による終活相談窓口(要予約)を運営した。

(日 時) 原則第2水曜日、13:30～15:30(1人約30分程度 先着4人迄)

(場 所) 垂水区社会福祉協議会相談室、(相談員) 税理士 浜口 祐介氏

(相談件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
件数	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	47

## 4)生活福祉資金貸付

### ①通常資金

低所得、障がい者世帯等の経済的な自立、在宅福祉の推進、社会参加の促進を図り、地域社会での安定した生活を支援するため、生活福祉資金貸付の相談・受付を行った。

(貸付決定実績)

資金の種類		件数	貸付決定
			金額(円)
福祉資金(福祉費)	一時的に必要な経費	0	0
	エアコン・冷蔵庫購入費	1	70,000
	転宅費	0	0
教育支援資金	教育支援費	16	16,262,400
	就学支度費	18	8,075,000
総合支援資金(通常分)		0	0
緊急小口資金(通常分)		1	30,000
合 計		36	24,337,400

## ②新型コロナウイルス特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯に対し、貸付対象、据置・償還期間など、通常の貸付要件を大幅に緩和して、緊急小口資金・総合支援資金(新型コロナウイルス特例貸付)の相談・受付を行った。

(令和2年3月25日より受付開始～令和4年9月末まで申請受付)

コロナ禍で経済活動の低迷が長期化する中、失業された方の就労に向けた支援を含め、適切な相談支援が講じられるよう、自立相談支援機関(くらし支援窓口)との連携・つながりを積極的に進めた。

(令和4年4月1日～令和4年9月30日借入申込件数/垂水区社協受付分)

資金の種類	件数(件)	申請金額(円)
緊急小口資金	90	16,650,000
総合支援資金	77	40,150,000

## 事業報告の附属明細書

令和4年度 事業報告は、社会福祉法第45条32第1項に規定する事業報告の附属明細書として記載する事項はありません。